

# SECUREMATRIX® RADIUS LOGON & APPLICATION INTERFACE

WatchGuard SSL 100/WatchGuard SSL 560 に SECUREMATRIX を標準搭載

リモートアクセスの『認証』のお悩み解決します。

社内のシステムによって  
パスワードが違うので、  
いちいち覚えていられない。

リモートアクセスする際の  
認証をもっと強化したい！

デバイスが必要な  
認証製品では、  
紛失も心配だし、  
運用コストが  
掛かってしまう・・・。

パスワードの紛失・盗難による  
インシデントを防ぎたい。

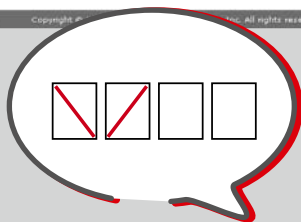
WatchGuard SSL100/560と  
連携実績のある本人認証  
製品を見つけたい。

**SECUREMATRIX で解決！**

WatchGuard SSL100/560 上の SECUREMATRIX の利用イメージ

## ● パスワードイメージ

あらかじめ自分の好きなパスワード  
イメージを登録しておきます。



## ● アクセスごとに異なるマトリクス表

1 回目

2 回目

## ▶ 異なるパスワード

マトリクス認証は、アクセスの度に表示される数字が変わるマトリクス表を使用しています。たとえば『V』というイメージのパターンを、あらかじめ登録しておきます。

入力するパスワード

**14952698**

(一度だけ)

マトリクス認証は、毎回マトリクス表に表示する数字が変わるので、二度と同じパスワードを入力することはありません。

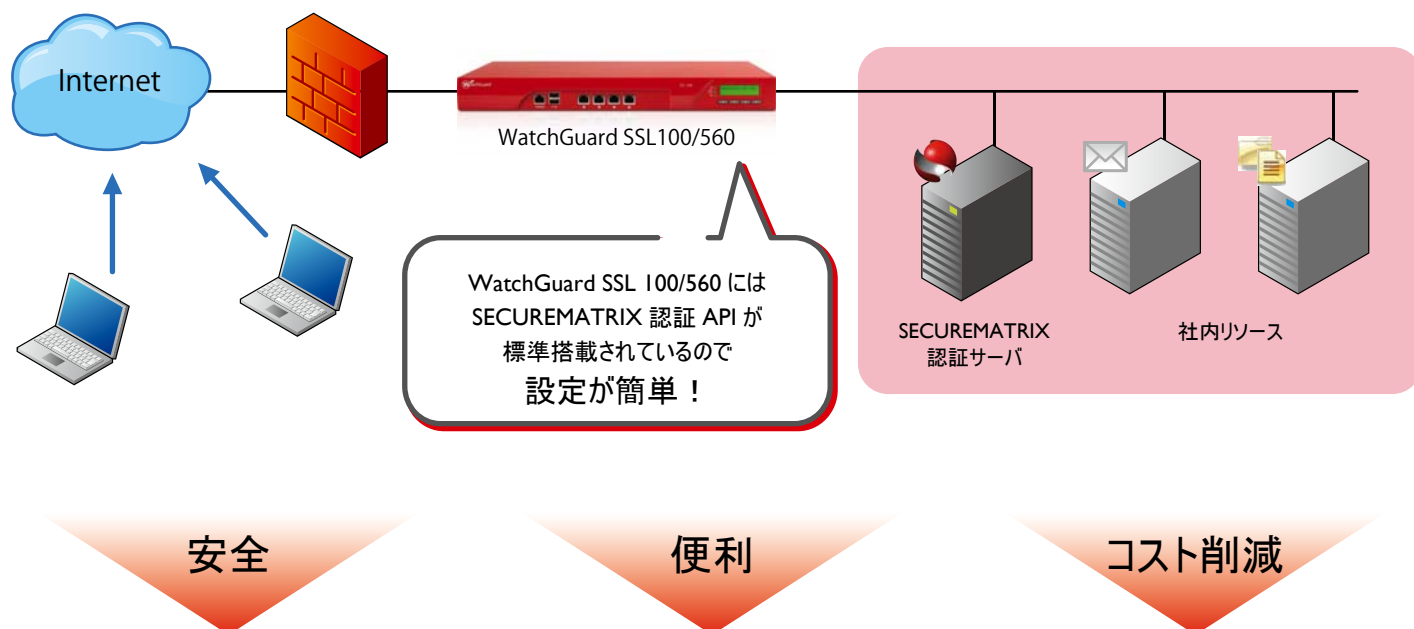
入力するパスワード

**19199918**

(一度だけ)

「マトリクス認証」は、ユーザがあらかじめ設定した「位置」と「順番」(＝イメージパスワード)を使ってマトリクス表(アクセスするたびにランダムに表示が変わる乱数表)から、その位置と順番に当てはまる数字を抜き出してワンタイムパスワードとして認識させる認証方式です。パスワードは「ワンタイム(使い捨て)」になるため、強固な認証を実現できます。

## SECUREMATRIX + WatchGuard SSL100/560 システム構成図



安全

便利

コスト削減

- SECUREMATRIX（セキュアマトリクス）は頭に思い描くイメージ（形）を使った、覚えやすく忘れにくいワンタイムパスワードです。ワンタイムパスワードは、アクセスの度に異なる使い捨てパスワードを利用するため、固定パスワードより認証を強化できます。
- ブラウザを搭載した情報機器さえあればどこからでも認証できるので、アクセス環境を選びません。
- 認証デバイスがいないため資産管理の手間やユーザによる紛失の心配はありません。
- 『誰がどのデバイスを持っているのか？』『地方支社や海外拠点への配布は？』『退職者のデバイスの回収をどうするか』・・・など、人・距離・時間の問題となる管理者の負担がありません。『壊してしまったら・・・』『紛

失してしまったら・・・』という、認証システムにおけるユーザの負担も軽減します。

- SECUREMATRIX は認証デバイスがいないため、そもそも認証デバイス購入のための初期費用は発生しません。購入費用だけでなく、電池の消耗・破損・紛失にかかる費用も発生しません。さらに、初期設定やユーザへの配付、資産の棚卸しといった、認証デバイスの管理にかかわる運用コストをすべてカットすることができます。
- WatchGuard SSL 100/560 は SECUREMATRIX の認証 API を標準搭載しています。認証に必要なサーバを従来の 2 台から 1 台に削減できるので、サーバの購入・管理コストを削減できます。

[お問い合わせ]



株式会社シー・エス・イー

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 3-3-1 A-PLACE渋谷金王  
[Tel] 03-5469-6026 [E-Mail] sales@csejtd.co.jp

※「SECUREMATRIX」及び「マトリクス認証」は株式会社シー・エス・イーの登録商標です。  
※記載されている会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。